

Dolby、CES 2026 で プレミアムエンターテインメントの新基準を提示

映像や音楽などの新しい楽しみ方につながる最新技術を発表

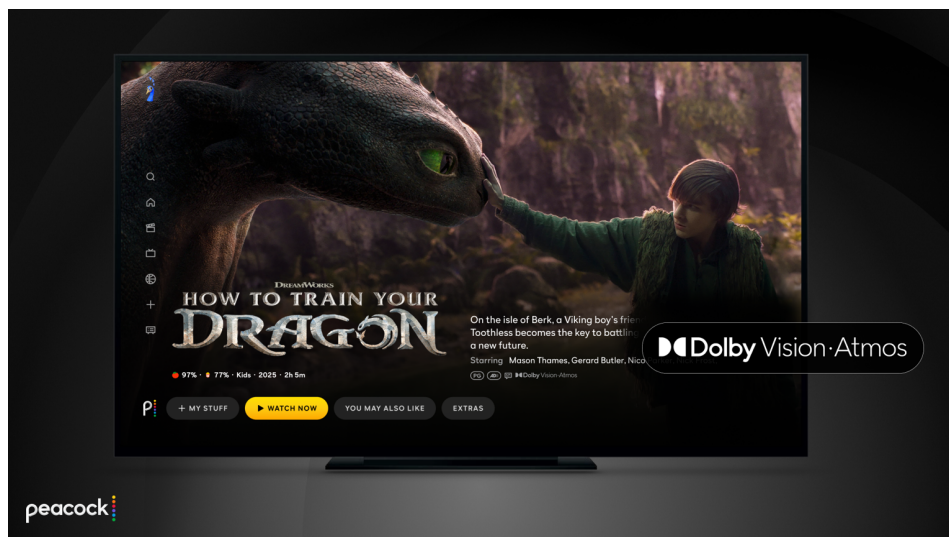


2026 年 1 月 6 日、ラスベガス発—ドルビーラボラトリーズ（NYSE：DLB、以下ドルビー）は、2026 年の CES（Consumer Electronics Show）でエンターテインメントの制作・配信・視聴を一新する最新技術を発表しました。ドルビーの技術により映像はさらに鮮明でダイナミックになり、車内でも圧倒的な没入感が得られるエンターテインメント体験が可能になります。また、ストリーミングでは視聴者がコンテンツの中心にいるような感覚を味わえるようになりました。

「ドルビーは、誰もがプレミアムな体験を得られるように技術やパートナーシップの拡大に努めています。映画や音楽、スポーツ、さらにはソーシャルコンテンツのクリエイター等が作り出す世界を、よりリアルな感動体験として提供していきます。」とドルビーラボラトリーズのエンターテインメント部門シニアバイスプレジデントのジョン・クーリング（John Couling）は述べています。

ドルビーと Peacock、ストリーミング体験に新基準を確立

CES の初日、ドルビーと NBCUniversal は、Peacock がドルビーの高度な映像・音響技術を全面的に活用する最初のストリーミングサービスになると[発表](#)しました。これにより、Peacock で映画やオリジナル作品、スポーツ、ライブイベントまでドルビー技術で視聴できるようになる重要な発表となりました。



<ドルビーと Peacock の今後の取り組み>

- Dolby Vision（以下、ドルビービジョン）と Dolby Atmos（以下、ドルビーアトモス）を、NBA、MLBを含むライブスポーツへ順次拡大
- 今年後半に予定される次世代技術 Dolby Vision 2（以下、ドルビービジョン 2）と Dolby AC-4（以下、ドルビー AC-4）の採用に向け準備を進行中

ドルビー、ホームエンターテインメントの未来を拡大

CES の開催に先立ち、ドルビーと LG は、「Dolby Atmos（ドルビーアトモス）FlexConnect」を搭載した「LG Sound Suite」を[発表](#)しました。これは世界初のドルビーアトモス FlexConnect 搭載サウンドバーを含む、モジュラー型ホームオーディオシステムになります。

<LG Sound Suite 詳細>

- ・ 最大 27 種類のスピーカー構成に対応
- ・ 設置後すぐに没入型のドルビーアトモスサウンドを体験可能
- ・ 2025 年の一部 LG プレミアム TV にもソフトウェアアップデートで対応予定

さらにドルビーは、ドルビービジョン 2 の普及を加速させるべく、同技術を最新テレビに採用するメーカーのラインアップ拡大を発表しました。Hisense、TCL、TP Vision が、今後発売するモデルでドルビービジョン 2 をサポートし、次世代のドルビー画質を世界中のスクリーンへ広げます。ドルビービジョンの成功を基盤に開発されたドルビービジョン 2 は、現代の視聴者の進化する期待に応え、最新テレビの性能を最大限に引き出すために設計されています。ドルビーの次世代イメージエンジンを搭載し、「Content Intelligence」や「Authentic Motion」といった新機能により、ドルビービジョン 2 はドルビービジョンの優れた特性を HDR 以上に拡張し、現代のテレビの全機能を引き出す、より本物で妥協のない映像体験を提供します。



<対応モデル>

- ・ **Hisense** : 2026 年 RGB MiniLED テレビ (UX、UR9、UR8) でドルビービジョン 2 をサポート予定。さらに今後の OTA アップデートで他の MiniLED モデルにも対応。
- ・ **TCL** : 2026 年 X QD-Mini LED TV シリーズおよび C シリーズで、OTA アップデートによりドルビービジョン 2 をサポート予定。
- ・ **TP Vision (Philips)** : 2026 年 OLED テレビにドルビービジョン 2 を搭載予定。新モデル「Philips OLED811」「OLED911」シリーズ、そしてフラッグシップモデル「OLED951」を含みます。

ドルビーアトモス、自動車分野で 35 以上のグローバルブランドへ普及拡大



現在、35 以上のグローバルブランドがドルビーアトモスを採用し、150 以上の車種で没入型オーディオ体験を提供しています。ドルビービジョンの採用も拡大し、NIO ET9 や Mahindra XUV 7XO が新たに対応しています。

CES では、ドルビーが初となる自動車ショールームを Dolby Live at Park MGM に開設し、Audi、Cadillac、Mercedes-Benz、NIO、Porsche の最新モデルを展示しました。

スマートフォンとの連携は車内エンターテインメントの向上にも寄与しています。CES においてドルビーと Mercedes-Benz がシームレスな体験の仕組みを紹介しました。

既に、[発表](#)されておりますが、Mercedes-Benz は Apple CarPlay においてドルビーアトモスによる空間オーディオをいち早く導入した自動車メーカーです。対応車種は最新モデル全てに搭載されており、電気自動車の GLC、CLA、GLB にも対応しています。ドライバーは Apple Music などのサービスから、お気に入りの楽曲を瞬時にドルビーアトモスにて、よりクリアで臨場感のあるドライブと音楽体験を楽しめます。

Pioneer はより多くのドライバーがイマーシブオーディオを楽しむことができる「SPHERA」を[発表](#)しました。「SPHERA」は世界初のドルビーアトモス対応アフターマーケット向けインダッシュレシーバーであり、これまで最新車種のみに搭載されているドルビーアトモスを、既存の車種への搭載も可能にしたことで、より多くのユーザーへドルビーアトモスの体験を提供します。

ドルビーは CES で車内エンターテインメントの未来を発表しました。SmashLabs のようなゲーム開発者が Audiokinetic の [Wwise](#)（ゲームやインタラクティブ体験向けに音を設計・制御する業界標準のオーディオ制作ツール）を活用することで、ドルビーアトモス対応の車両で没入感のあるマルチチャンネル型ゲーム体験を実現できるようになっています。これにより、消費者はドライブ中にもドルビーアトモスを新たに楽しむことが出来るようになりました。

さらに、ドルビーと、スマートフォンや自動車向け半導体・プラットフォームを手がける世界的なテクノロジー企業の Qualcomm は、ドルビーの最新車載向け製品を Qualcomm の第 5 世代 Snapdragon Automotive プラットフォームに統合する最新の協業を披露します。この統合は、OEM が次世代インフォテインメント体験にドルビー技術を取り入れるためのモデルケースとなります。対応技術には、ドルビービジョン、ドルビーアトモス、そしてドルビーのフラッグシップオーディオコーデック「ドルビー AC-4」が含まれ、これにより高品質なオーディオストリーミングをよりスムーズに実現し、OEM のオーディオデータコストを最大 60%削減することが可能になります。

ドルビーの次なるチャプターへ

CES 2026 は、ドルビーにとって重要な一年の幕開けです。ドルビーは今後も、人々のコンテンツ体験の変化に寄り添い、没入的で直感的、そしてつながりのあるエクスペリエンスを提供する技術開発を進めていきます。

ドルビーについて

ドルビーラボラトリーズは、サンフランシスコを拠点とし、世界中にオフィスを展開しています。映画やテレビ番組からアプリ、音楽、スポーツ、ゲームまで、ドルビーは世界中の何十億もの人々に向けて、視覚と聴覚の科学を素晴らしい体験に変えています。アーティスト、制作者、開発者、企業と協力し Dolby Atmos、Dolby Vision、Dolby Cinema、そして Dolby OptiView でエンターテインメントとコミュニケーションに革命をもたらしています。

【本件に関するお問い合わせ先】

Dolby Japan PR 事務局: dolby-pr@vectorinc.co.jp

※Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Atmos、およびダブル D 記号は、アメリカ合衆国とまたはその他の国におけるドルビーラボラトリーズの商標または登録商標です。その他の商標はそれぞれの合法的権利保有者の所有物です。